

# 令和元年度「学校評価」 結果公表シート

学校法人 池浦学園  
熊取みどり幼稚園

当園ではこの度、令和元年度の幼稚園学校評価として、園長のリーダーシップのもと教職員自己評価、学校関係者評価を実施いたしました。「二人でひとり」というキャッチフレーズのもと、子どもたちのために何をすべきかを皆で検討し、園の改善活動に取り組みましたので、その取組みを本シートに纏め、公表いたします。

## I. 教育目標

<b>モットー</b> 「心優しく、元気でたくましく生きる子供」
<b>教育目標</b> 「一人一人を大切に、質の高い教育を目指します。」
<b>今年度のキャッチフレーズ</b> 「二人でひとり！」（全クラス2人担任）
<b>教育方針</b> 1) 四大行事（七夕音楽会・運動会・幼稚園まつり・生活発表会）に取り組み、行事の練習を通じてやる気・粘り強さ・忍耐力・協調性などを養います。 2) 基本的な生活習慣（あいさつ、返事、靴を揃える等）を身につけます。 3) 規範意識（社会生活として必要なルールを知り、ルールを守り、自分の気持ちをコントロールする力）を養います。 4) 自然に恵まれた環境の中で、花や鳥を友とし、友達と仲良く、元気に遊び、楽しい思い出を作ります。

## II. 今年度の重点目標

「二人でひとり」のキャッチフレーズのもと、日々の教育内容をより充実させる。また、園の教職員全員で研修形式の会議を開き、園内の細かな問題点や課題を抽出し、改善できる内容について改善を行う。

## III. 評価項目と取組み状況

評価項目	取組み内容	今年度の取組み状況
1 保護者との意思疎通	説明会と個別対応	A 昨年度は無償化の実施やコロナウイルスによる対応によって、保護者説明会を実施する等、情報発信のスピードと質が求められる1年間であった。個別の質問に対しても教職員間で共通認識を持つことにより、外部環境の大きな変化に対応することができた。
2 職場環境の向上	業務の効率化	B 保護者や地域のニーズが変化している中で、園側の業務量は増加している。大きな残業などは発生していないが、人員体制を鑑みながら教育の質を維持し、業務の効率化を図った。 今後は業務の目的を明確にしながら不要な業務や変更する必要がある業務を洗い出し、さらなる効率化を図る。
3 研修の充実	課題の浸透と行動内容の策定	A 顧問コンサルタントに講師を依頼し、ワークショップ形式で教職員のグループディスカッションを実施した。トップダウンではなくボトムアップによる問題解決を試みた。具体的な内容も含め、本年度に同様の研修を実施し、進捗状況を確認する。

### 【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取組みが不十分である

## IV. 今後取り組むべき課題

1 教育の充実	全クラス2人担任という特色をもとに、地域のファンづくりを展開する。
2 職場環境の向上	サービスの質を維持しながら業務の効率化を推進する。
3 研修の充実	教職員から問題提起、改善提案ができる園風土を作る。

## V. 学校関係者の評価

・自己評価、課題設定は適切に行われております。  
・業務の効率化とサービスの質の維持の両立は非常に難易度が高い試みだと思っておりますが、実現できれば園児、保護者、教職員全員にとって素晴らしい園に近づくと感じます。  
・熊取みどり幼稚園は常に新しい取り組みや目標を設定しながら変化を遂げていると感じます。  
・今後も関係者として支援させていただければと存じます。